

【大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」第2次基本計画進ちょく状況一覧】

※現状値は特に注記のない限り平成30年度（2018年度）実績

第1部 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり（市民福祉の向上）

第1章 社会福祉の充実

第1節 地域福祉の推進

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
(※) 福祉協力員等を配置している校（地）区社会福祉協議会の数	6校区	8校区	20校区

※福祉協力員

おおむね自治会ごとを活動範囲とし、自治会長や民生委員等と協力しながら地域のさまざまな支援者や団体と連携し、地域における福祉活動を支援する役割を担う。選出や任命及び活動内容等については、地域の実情に応じて校（地）区社会福祉協議会ごとに検討し、地域支援活動を行っている。

第2節 子ども・子育て支援の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
保育施設利用待機児童数	25人 (H31年4月時点)	0人 (R4年4月時点)	0人
大分市子育て支援サイト「naana」アクセス数	467,022件 (H30年度末時点)	427,034件	500,000件
放課後児童クラブを利用できなかった児童	5人 (H31年4月時点)	11人	0人
3歳児健診でのむし歯保有率	15.8% (H30年度末時点)	11.7%	10.0%以下

第3節 高齢者福祉の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
認知症サポーター養成講座受講者数（累積）	41,025人	48,282人	65,000人
地域ふれあいサロン利用登録者数	11,953人	10,057人	14,300人
短期集中予防サービス（パワーアップ教室）利用者数	690人	574人	830人

第4節 障がい者（児）福祉の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
就労支援サービス（※）利用者数	2,122人	2,375人	2,600人
就労支援サービス利用から一般就労への移行者数	71人	77人	100人
共同生活援助（グループホーム）の利用者数	540人	710人	600人
手話通訳者を配置（巡回を含む）している市有施設数	4箇所 (H30年度末時点)	4箇所	9箇所
大分市障がい者相談支援センター相談者数	20,080人	28,395人	21,800人

※就労支援サービス利用者数は、就労移行支援・種別継続支援（A型）・就労継続支援（B型）の利用者数の合計値

第5節 社会保障制度の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
国民健康保険加入者の（※）特定健康診査受診率	38.0%	31.3%	60.0%
国民健康保険加入者の後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用率	74.2%	78.9%	80.0%
生活保護受給者就労支援事業により3カ月以上の就労自立期間のあった人の数	110人	109人	500人 (R2～R6年度累積)

※特定健康診査

2008（平成20）年4月より始まった、生活習慣病予防のための健診。40歳から74歳までが対象で、腹囲の測定及びBMIの算出を行い、基準値以上の人はさらに血糖、脂質、血圧、喫煙習慣の有無から危険度により階層化され、リスクに応じた保健指導を受けることになる。被保険者の健康保持と疾病予防、重度化予防を図る。

第2章 健康の増進と医療体制の充実

第1節 健康づくりの推進

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
食生活改善推進員養成講座修了者数（累積）	547人	585人	675人
大分市健康推進員配置自治区数	652自治区	646自治区	全自治区
健康づくり運動指導者認定者数（累積）	926人	1,027人	1,137人
MR（麻しん・風しん混合）ワクチンの1期（生後12～24月）・2期（小学校就学前1年間）の各接種率	1期99.9% 2期94.8%	1期92.8% 2期94.1%	1期、2期の接種率 95%以上の達成・維持

※食生活改善推進員

保健所で開催する養成講座を修了した後、食生活の改善や食育の普及啓発活動を行うとともに、保健所が行う各種事業に協力し、地域で食を通じた健康づくりを行うボランティア（愛称「ヘルスメイト」）。

第2節 地域医療体制の充実

指標名	現状値 (H26年度調査)	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
「かかりつけ医」のいる60歳以上の市民の割合	58.1%	63.6%	70.0%

第3章 人権尊重社会の形成

第1節 人権教育・啓発及び同和対策の推進

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
人権啓発センター（ヒューレおおいた）利用者数	48,652人	19,664人	56,000人
人権啓発研修等への講師派遣回数（参加者数）	195回 (7,096人)	205回 (4,010人)	200回 (8,000人)

第2節 男女共同参画社会の実現

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
固定的な性別役割分担に反対する人の割合	76.5%	84.4%	88.9%
男女共同参画社会という言葉を知っている人の割合	71.1%	75.1%	100.0%

第4章 地域コミュニティの活性化

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
おおむね小学校区単位で取り組むまちづくり推進組織の数	18校区	22校区	35校区
市民と行政が協働でまちづくりを行っていると考える市民の割合	34.9% (H30年度調査)	32.2%	50.0%

第5章 健全な消費生活の実現

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
消費者啓発講座の受講者数	3,620人	2,476人	4,000人

第2部 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり（教育・文化の振興）

第1章 豊かな人間性の創造

第1節 生きる力をはぐくむ学校教育の充実

指標名	現状値 (H27年度調査)	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
国・県・市主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合	小学校 94.1% 中学校 88.0%	小学校 92.9% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%
新体力テストにおける（※）総合評価がC以上の児童生徒の割合	小学校 85.5% 中学校 88.8%	81.5% 85.9%	小学校 88.0% 中学校 91.0%
12歳のむし歯本数（一人あたり）	1.1本	0.8本	0.7本

※総合評価がC以上の児童生徒の割合

記録と年齢に応じて点数化した児童生徒個々の体力合計点を、A～Eの5段階で評価したもののうち、上位3段階以上の児童生徒の割合。

第2節 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
（※）不登校児童生徒の出現率	小学校 0.9% 中学校 5.2%	小学校 1.6% 中学校 6.8%	小学校 0.7% 中学校 3.6%
小中学校のトイレ洋式化率	48.9%	55.3%	60.0%
学校運営協議会の設置校数（累積）	24校	52校	全校

※不登校児童生徒

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

第3節 社会教育の推進と生涯学習の振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
大分市民図書館等の利用者数	994,056人	642,242人	1,000,000人
（※）おおいたふれあい学びの広場推進事業（地域主体型）の実施回数	729回	238回	800回
地区公民館及び地区人権教育（尊重）推進協議会の地区懇談会等への参加者数	9,437人	4,067人	11,000人

※おおいたふれあい学びの広場（地域主体型）

地域の団体等が実行委員会を組織し、放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して子どもにさまざまな体験活動等の機会を定期的かつ継続的に提供するもの。

第2章 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
（※）文化ホールの利用者数	379,673人	130,453人	417,000人
大分市美術館の利用者数	380,729人 (H28～30年度平均値)	237,409人	500,000人 (R2～R6年度平均値)
アートプラザの利用者数	170,505人 (H28～30年度平均値)	67,617人	180,000人 (R2～R6年度平均値)
歴史資料館の利用者数	43,346人	28,853人	47,500人

※文化ホールとは、コンパルホール、ホルトホール大分の市民ホール及び平和市民公園能楽堂をいう。

第3章 スポーツの振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
週1回以上のスポーツ実施率	35.8%	31.0%	50.0%
全国大会（小中学生においては九州大会）以上に出場した団体数	194団体	161団体	200団体
スポーツ指導者研修会の参加者数	910人	637人	1,200人

第4章 国際化の推進

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
外国人と直接触れ合える事業に参加した子どもの数	41,959人	31,028人	43,000人
国際課、多文化共生イベントへの参加者数	37,158人 (H28～H30年度平均値)	4,508人	38,000人 (R2～R6年度平均値)

第3部 安全・安心を身近に実感できるまちづくり（防災安全の確保）

第1章 防災力の向上

第1節 防災・危機管理体制の確立

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
防災訓練を実施した自主防災組織数	443組織 (H27～H30年度累計)	236組織 (R2～R3年度累計)	全自主防災組織 (※603組織数)
自主防災組織における風水害避難行動計画の策定率	63.0%	88.7%	100.0%
特定建築物の耐震化率	91.3%	92.5%	95.0%

※603組織には、自主防災組織を結成していない1自治区を含む。

第2節 治山・治水対策の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
雨水排水ポンプ場の整備	設置6箇所 着手1箇所	設置6箇所 着手2箇所	設置7箇所 着手2箇所
河川施設の整備（整備延長 4,734m）	66.4%	91.5%	96.8%

第2章 安全・安心な暮らしの確保

第1節 消防・救急体制の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年：1月～12月)	目標値 (R6年度見込)
住宅火災の出火率	1,275 (H28～R1の平均)	1.5 (R3年)	現状値以下
消防団員数	2,175人 (R1年度当初時点)	2,137人 (R3年度当初時点)	2,175人以上
救急隊が到着するまでに、市民が心肺蘇生を実施した割合 (応急手当実施率)	53.2%(H21～H25累積) 60.1%(H26～H30累積)	63.4% (R3年)	64.0%

第2節 交通安全対策の推進

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年1月～12月)	目標値 (R6年見込)
年間交通事故死傷者数	2,240人 (2018年実績)	1,475人	2,000人以下
年間交通事故死者数	10.5人 (2015～2019年9月末までの平均)	14人	10人以下

第3節 防犯体制の強化

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年1月～12月)	目標値 (計画期間中)
刑法犯認知件数	1,548件	1,318件	2018年（H30年）実績 の1割以上減

第4部 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり（産業の振興）

第1章 特性をいかした生産業の展開

第1節 工業の振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
誘致企業件数	57件 (H28~H30年度累積)	18件	60件 (R2~R6年度累積)
市内創業支援機関等の支援による創業件数	175件	149件	200件
市が開催・支援する人材育成に係る講座及び研修の延べ受講者数（年間）	1,847人	1,397人	2,000人
海外展開支援件数	93件 (H28~H30年度累積)	88件	200件 (R2~R6年度累積)

第2節 農業の振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
認定新規就農者数（累積）	13人	19人	50人
直販所・直売コーナーの販売額	23.8億円	30.9億円	30.5億円
（※）主要品目の産出額	47億9,200万円	46億2,089万円	53億7,700万円
（※）共同活動に取り組む集落数	51	50	68

※主要品目

おおば、にら、みつば、いちご、水耕せり、パセリ、ピーマン、乳用牛（生乳）、肉用牛（和牛子牛、雑子牛）

※共同活動に取り組む集落数

農地を守るため、共同活動を行っている集落数。（※）中山間地域等直接支払制度取組集落数+（※）多面的機能支払制度取組集落数

※中山間地域等直接支払制度

傾斜地が多く農業生産条件が不利な中山間地域等において、農業生産活動などに対して助成することで平坦地との条件不利の補正を行う制度

※多面的機能支払制度

多面的機能とは、農業・農村の有する国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの機能のこと。これらの機能を維持・発揮するための地域共同活動に対して一定の助成を行う制度。

第3節 林業の振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
年間再造林面積	18ha	18ha	28ha
年間素材生産量	20,000m ³	30,225m ³ (R2年度)	27,500m ³
主要林道舗装延長（累積）	2,733m	3,123m	3,900m

第4節 水産業の振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
増殖場の造成面積	37,564m ²	81,730m ²	87,000m ²
新規就業者数（累積）	11人	30人	34人
ブランド魚種の漁獲量（関あじ、関さば、イサキ）	229.3 t	173 t	240.0 t

第2章 活気ある流通・サービス業の展開

第1節 商業・サービス業の振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
小売商業の年間商品販売額	5,551億円 (H28経済センサス)	5,551億円 (H28経済センサス)	5,700億円
卸売商業の年間商品販売額	9,127億円 (H28経済センサス)	9,127億円 (H28経済センサス)	9,900億円
中心部商店街の空き店舗率	9.8%	9.0%	4.6%

(参考) 2020年経済構造実態調査による小売商業の年間販売額・卸売商業の年間販売額(総務省・経済産業省所管の「経済構造実態調査」の調査票情報を利用して独自に集計)

- ・R2年小売商業の年間商品販売額…5,689億円
- ・R2年卸売商業の年間商品販売額…7,804億円

※経済構造実態調査

総務省・経済産業省が、5年ごとに実施する「経済センサス・活動調査」の中間年の実態を把握することを目的とし、毎年(ただし経済センサス・活動調査の実施年を除く)実施している調査。

第2節 流通拠点の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
大分港大在コンテナターミナルの取扱実入りコンテナ数 (外貨及び内貨)	37,249TEU	41,478TEU	38,000TEU
公設地方卸売市場における取扱金額(青果部)	149億円	148億円	149億円
公設地方卸売市場における取扱金額(水産物部)	79億円	67億円	85億円

※大分港大在コンテナターミナル

東アジアをはじめとする環太平洋諸国との物流拠点校を目指して大在公共埠頭に整備され平成8年に供用開始。

※TEU

「Twenty-foot Equivalent Unit」の略で、20フィート(長さ約6m)のコンテナに換算したコンテナ個数の単位

第3章 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
(公社)大分市シルバー人材センターの事業実績金額	6億7,992万円	7億3,768万円	8億3,500万円
(一財)おおいた勤労者サービスセンターの会員数	20,847人	22,157人	22,500人
UIJターン就職者数(※)おおいた産業人財センターの登録者のうち、大分市へ就職した人数)	289人	194人	475人

※おおいた産業人財センター

県が開設した、地域経済や雇用を支える県内中小企業の自立・挑戦を応援するために、企業における人材確保・定着を支援する拠点。

第4章 魅力ある観光の振興

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年1月~12月)	目標値 (R6年度見込)
観光入込客数	3,659,141人	3,260,473人	4,880,000人
観光宿泊客数	998,330人	800,285人	1,050,000人
外国人観光宿泊客数	64,468人	3,680人	82,000人

第5部 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり（都市基盤の形成）

第1章 快適な都市構造の形成と機能の充実

第1節 計画的な市街地の形成

指標名	現状値	進捗状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
(※) 幹線道路整備延長（累積）	266.1km	268.2km	268.8km
(※) 無電柱化延長（累積）	41.2km	41.8km	44.0km
(※) 都市機能誘導区域内に立地する(※) 誘導施設の割合（大分都心拠点）	87%	87% (R2年度末)	増加

※幹線道路整備延長
高規格道路、広域幹線道路、都市幹線道路、幹線市道の整備延長の合計。

※無電柱化
道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による電線類地中化や、表通りから見えないよう配線する裏配線などにより道路から電柱をなくすもの。

※都市機能誘導区域
都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設など都市機能の増進に著しく寄与するもの（都市機能増進施設）の立地を誘導すべき区域。

※誘導施設
都心拠点および書く地区拠点に設定した都市機能誘導区域内において、立地を誘導すべき都市機能増進施設。

第2節 交通体系の確立

指標名	現状値	進捗状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
人口一人当たりの年間公共交通（鉄道・バス）利用回数	45.3回	35.6回	48.0回
市が設置する中心市街地における駐輪場の収容台数	4,063台	4,197台	4,750台

第3節 地域情報化の推進

指標名	現状値	進捗状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
オープンデータ公開件数	650件	1,397件	1,500件
大分市無料公衆無線LANアクセスポイント数（累積）	79 アクセスポイント	97 アクセスポイント	100 アクセスポイント
ICT講習会受講者数（累積）	57,650人	72,644人	76,000人

第2章 安定した生活基盤の形成

第1節 水道の整備

指標名	現状値	進捗状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
基幹管路の(※) 耐震適合率	66.6%	70.0%	72.5%
(※) 建設改良積立金	4億円	26億円	35億円

※基幹管路
導水管、送水管、口径400mm以上の配水本管のこと

※耐震適合率
強い地盤に布設された耐震適合性のある管や耐震性能のある管の管路全体に占める割合

※建設改良積立金
将来の建設または改良工事を行うための財源とする目的で利益から積み立てる積立金

第2節 下水道の整備

指標名	現状値	進捗状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
(※) 下水処理人口普及率	63.4%	66.2%	72.0%
企業債残高	817.8億円	777.6億円	745.2億円

※下水処理人口普及率
本市の総人口に対して、公共下水道を利用することができる人口の割合。（公共下水道処理人口/総人口）

第3節 安全で快適な住宅の整備

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
住宅の耐震化率	84.2%	86.6%	97.9%
(※) 大分市住み替え情報バンクの登録数(累積)	169件	359件	380件

※大分市住み替え情報バンク

空き家等の売却または賃貸を希望する所有者等から申し込みを受けて、当該空き家等に係る情報を公開する制度のこと。

第4節 公園・緑地の保全と活用

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
市民1人当たりの都市公園面積	14.72㎡	14.89㎡	15.03㎡
多目的トイレの設置数(累積)	141箇所	152箇所	165箇所
(※) 公園愛護会(清掃・トイレ)の結成数	420団体	438団体	420団体

※公園愛護会

公園が楽しく憩いの場となるよう清掃・除草活動等を行う、自治会、子ども会、老人会等により公園ごとに設立された組織。

第6部 自然と共生する潤い豊かなまちづくり(環境の保全)

第1章 豊かな自然の保全と緑の創造

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
「(※) 郷土の緑保全地区」区域指定面積	78.2ha	81.7ha	90.0ha

※郷土の緑保全地区

「大分市緑の保全及び創造に関する条例」に基づき、環境保全、レクリエーション、防災、景観保全のために必要な緑地を市民とともに保全する地区。

第2章 快適な生活環境の確立

第1節 廃棄物の適正処理

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
ごみ排出量	160,153t	160,185t	153,465t
おおいた優良産廃処理業者認定数	14事業者	17事業者	30事業者
きれいにしようえおおいた推進事業活動団体登録数	269団体	267団体	280団体

第2節 清潔で安全な生活環境の確立

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
狂犬病予防注射率	64.7%	65.9%	75.0%
食中毒発生件数	6件	1件	0件

第3節 公害の未然防止と環境保全

指標名	現状値	進ちょく状況 (R3年度末)	目標値 (R6年度見込)
大気汚染物質に係る環境基準達成項目数(全11項目)	10項目	10項目	11項目
公共用水域の環境基準(BOD、COD)達成率	94.7%	94.7%	100%

※BOD(生物化学的酸素要求量: Biochemical Oxygen Demand)

微生物が有機物を参加・分解するのに使われる酸素量のこと、河川の代表的な有機汚濁指標

※COD(化学的酸素要求量: Chemical Oxygen Demand)

有機物を酸化材で酸化するときに消費される酸素量のこと、海域や湖沼の代表的な有機汚濁指標

第4節 地球環境問題への取組

指標名	(※) 現状値 (H27年度実績)	進ちょく状況 (H30年度)	(※) 目標値 (R6年度見込)
大分市全域の温室効果ガス排出量 «(※) 基準年度(2013年度: 26,915千t-CO2)との比較値»	24,284千t-CO2 (9.8%減)	13.8%減	24,528千t-CO2 (8.9%減)

※基準年度

国の「地球温暖化対策計画」において、2013(H25)年度値を基準年度として設定しており、本市でも同様に基準年度として設定している。

2021(R3)年3月に策定した「第3期大分市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」において、新たに定められた国のマニュアルの算定方法を用い、数値を過去に遡って算出し直した。その結果、基準年度である2013(H25)年度の値は28,913千t-CO2となった。この算定方法と基準値を用い、2018(H30)年度の進ちょく状況を判定している。

※現状値

2015(H27)年度実績については、全体の中で大きな割合を占める産業部門の排出量が大幅に減少したことが影響し、目標を上回る削減となっている。

※目標値

国の計画を踏まえ、本市で策定した第2期大分市地球温暖化対策実行計画において設定した削減目標としている。第3期の目標は2025(R7)年度11.9%減としている。